

# 第1章 JNTO 統計

## (JNTO 基準による日本の国際会議の開催状況)

	本章で使用する「JNTO国際会議統計」について	2頁
1	年別 国際会議の開催状況 (開催件数、参加者数、開催延べ日数)	3頁
2	規模別 国際会議の開催状況① (開催件数、平均外国人参加者数)	4頁
3	規模別 国際会議の開催状況② (中・大型国際会議の開催件数、外国人参加者数)	5頁
4	分野別 国際会議の開催状況 (開催件数、外国人参加者数)	6頁
5	月別 国際会議の開催状況① (開催件数)	7頁
6	月別 国際会議の開催状況② (外国人参加者数)	8頁
7	都市別 国際会議の開催状況 (外国人参加者数、参加者総数、開催件数)	9頁
8	会場別 国際会議の開催状況 (開催件数、参加者数)	10頁

# 本章で使用する「JNTO 国際会議統計」について

本章は、日本政府観光局（JNTO）が、関係府省庁、自治体、コンベンション推進機関などのご協力を得て国際会議の開催情報を収集し、そのデータを集計・分析したもので、日本で開催された国際会議の概要を把握する指標となっています。なお、本章のデータは、以下の選定基準に基づいて集計しています。

## 国際会議の選定基準

### 対象とするもの

\*以下の①～④を全て満たす国際会議を、「国際会議」とします。

- ①主催者：「国際機関・国際団体（各国支部を含む）」又は「国家機関・国内団体」（各々の定義が明確ではないため、「公共性を帯びていない民間企業」以外は全て。）
- ②参加者総数：50名以上
- ③参加国数：日本を含む3居住国・地域以上
- ④開催期間：1日以上

### 対象にならないもの

1. 開催目的 主催団体による営利活動や内部活動としての会合や集会
  - 営利活動を目的とするもの  
例：企業内会議、商談、勧誘・宣伝活動（投資セミナー、観光セミナー、留学支援セミナー）
  - 主催団体の内部活動  
例：教育機関がカリキュラムの一環として行う授業や講義、カルチャースクール等の教育文化活動プログラム、団体内の研修会、宗教団体の儀式・集会・勧誘
2. 開催の様態 会議や講演会の実態がない会合や集会
  - 興行上のサービス  
例：コンサート、映画上映会、舞台挨拶 ※付随するトークショーも興行上のサービスとみなします。
  - 単なるセレモニー  
例：開会・閉会式、〇〇周年記念式典
  - 上位会議の分科会  
例：学会開催時における個別の分科会、大規模フォーラムの個別セッション
  - 単なるイベント  
例：展示会、スポーツ大会、国際交流パーティー
3. その他  
以下の情報が不足している会議も対象外となります。
  - 「参加国数」、「国内参加者数」、「海外居住外国人参加者数」の内訳（「展示会が主体となっており、その中に組み込まれている会議」においては、展示会全体ではなく会議そのものの上記情報）
  - 一般に公開されているセミナー、シンポジウム、討論会のうち、海外に居住する講師や参加者を招聘・募集したことを示す資料

### 国際会議参加者の取り扱い

- 外国人参加者数には、国際会議の出席を目的に来日した会議代表、オブザーバー、同伴家族を含みます。但し、報道関係者、在日外国人（留学生を含む）は含みません。

### 国際会議開催日数の取り扱い

- 国際会議開催日数には、会議の前後または合間の日に開催されるレセプション、視察旅行、観光旅行を含めず、純粋な会議日数のみを計上しています。（但し2013年～2014年は会議の前後または合間の日に開催されるレセプション、視察旅行、観光旅行を含めて計上しています。）

1

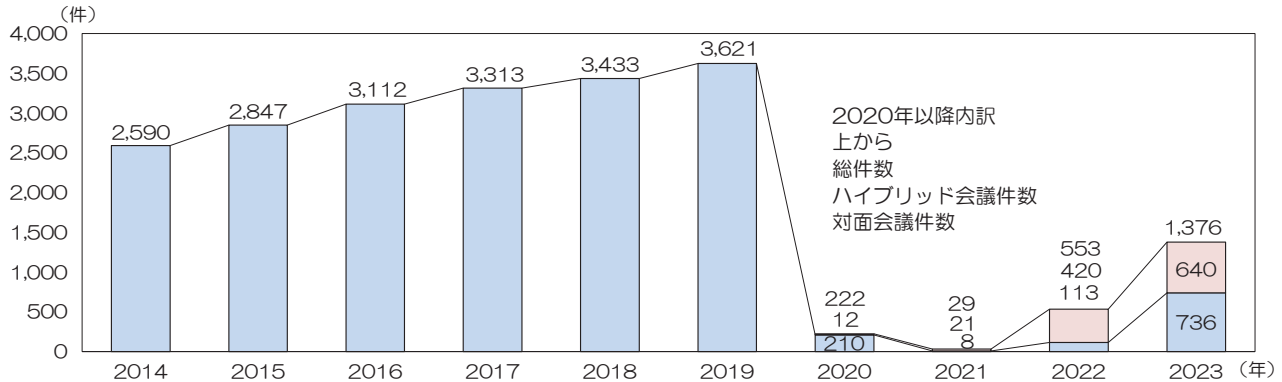
年別 国際会議の開催状況 (開催件数、参加者数、開催延べ日数)

— 前年比では件数は 2.5 倍、参加者数は 3.1 倍と堅調に回復 —

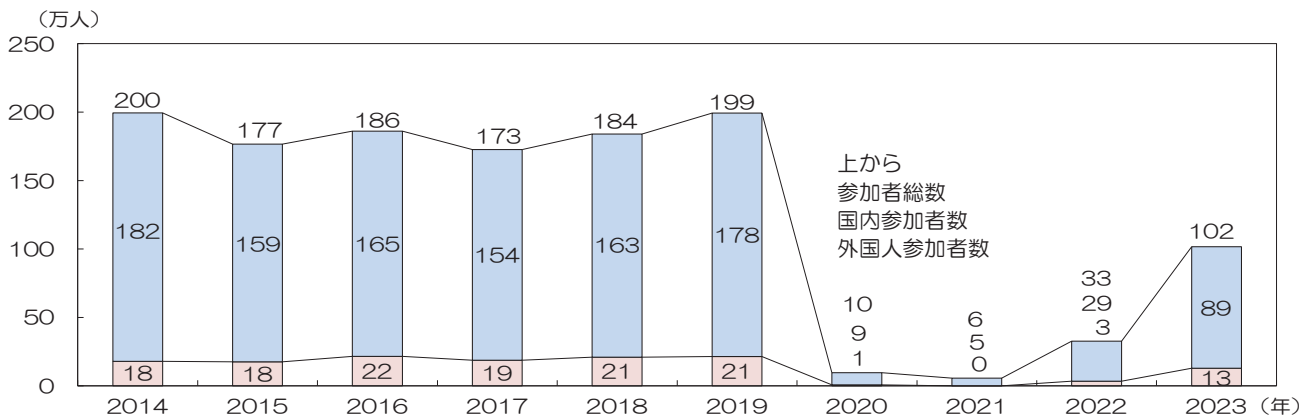
2023 年に日本で開催された国際会議の件数は、前年の 2.5 倍の 1,376 件となり、コロナ禍からの堅調な回復傾向が見られた。対面とオンラインを併用したハイブリッド国際会議の開催件数は前年の 1.5 倍に、対面会議の件数は前年の 6.5 倍になり、ハイブリッド会議が総件数に占める割合は 43.5%に留まった (前年：75.9%)。参加者総数は前年の 3.1 倍の 102 万人、国内参加者数は前年の 3.0 倍の 89 万人、外国人参加者 (海外居住者) 数は前年の 3.8 倍の 13

万人となり、外国人参加者数の伸び率が国内参加者数の伸び率を上回った。2019 年比では、開催件数は 38.0%、参加者総数は 51.0%、国内参加者数は 49.8%、外国人参加者数は 60.6%まで回復した。国際会議の開催延べ日数は前年の 2.3 倍の 4,010 日となり、2019 年比でも約 5 割まで回復した。1 件あたりの平均開催日数は 2.91 日となり、前年に続き、2019 年以前と比較すると長い傾向が見られた。

図表 1-1 年別 国際会議の開催件数及びハイブリッド会議開催件数 (2014 年~2023 年)

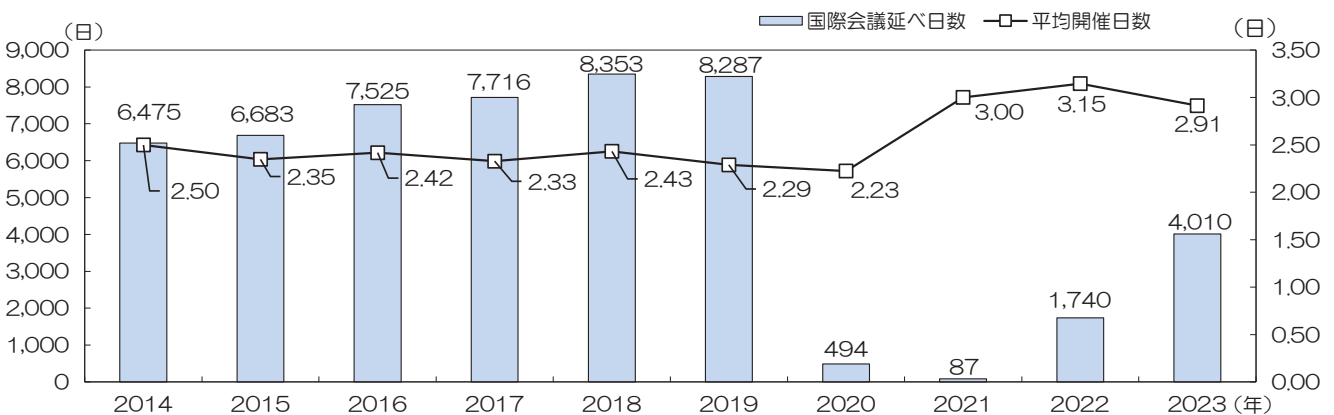


図表 1-2 年別 国際会議の参加者数 (2014 年~2023 年)



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
参加者総数	1,995,336	1,766,798	1,862,020	1,725,927	1,839,694	1,993,790	96,271	55,221	325,752	1,016,813
国内参加者数	1,816,603	1,591,765	1,645,998	1,539,279	1,630,097	1,780,396	89,668	54,471	291,965	887,440
外国人参加者数	178,733	175,033	216,022	186,648	209,597	213,394	6,603	750	33,787	129,373

図表 1-3 年別 国際会議の開催延べ日数、平均開催日数 (2014 年~2023 年)



[ 図表 1-2 ] 注：会議以外の要素が含まれている国際会議 (展示会主体の併設会議など) に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

## 2

## 規模別 国際会議の開催状況① (開催件数、平均外国人参加者数)

— 1,000人以上の大規模の会議の割合が増加、平均外国人参加者数も前年を上回る —

2023年に開催された国際会議を規模別に見ると、300人未満の会議が847件で全体の61.6%を占め、中でも100人未満の会議が最多の378件となった。一方で、1,000人以上の規模の大きな会議が全体の17.1%を占め、2019年(11.7%)と比べるとその割

合が高くなった。

全会議における会議1件あたりの平均外国人参加者数は94人で、前年の61人および2019年の59人を大幅に上回った。

図表1-4 規模別 国際会議の開催件数(2014~2023年)、平均外国人参加者数(2023年) ※上段:開催件数、下段:構成比(%)

参加者総数	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2023年 1件あたりの平均 外国人参加者数
100人未満	694 (26.8)	850 (29.9)	980 (31.5)	1,170 (35.3)	1,176 (34.3)	1,302 (36.0)	88 (39.6)	4 (13.8)	168 (30.4)	378 (27.5)	26
100~199人	726 (28.0)	743 (26.1)	813 (26.1)	859 (25.9)	834 (24.3)	912 (25.2)	60 (27.0)	4 (13.8)	130 (23.5)	328 (23.8)	48
200~299人	358 (13.8)	334 (11.7)	389 (12.5)	380 (11.5)	386 (11.2)	364 (10.1)	22 (9.9)	4 (13.8)	58 (10.5)	141 (10.2)	83
300~399人	180 (6.9)	184 (6.5)	203 (6.5)	181 (5.5)	216 (6.3)	217 (6.0)	14 (6.3)	2 (6.9)	43 (7.8)	91 (6.6)	102
400~499人	100 (3.9)	114 (4.0)	116 (3.7)	109 (3.3)	121 (3.5)	116 (3.2)	5 (2.3)	1 (3.4)	22 (4.0)	66 (4.8)	106
500~799人	158 (6.1)	196 (6.9)	203 (6.5)	176 (5.3)	220 (6.4)	232 (6.4)	12 (5.4)	4 (13.8)	43 (7.8)	105 (7.6)	152
800~999人	44 (1.7)	64 (2.2)	61 (2.0)	64 (1.9)	79 (2.3)	73 (2.0)	3 (1.4)	1 (3.4)	13 (2.4)	32 (2.3)	179
1,000~1,499人	88 (3.4)	83 (2.9)	88 (2.8)	127 (3.8)	138 (4.0)	117 (3.2)	7 (3.2)	2 (6.9)	23 (4.2)	72 (5.2)	233
1,500~1,999人	50 (1.9)	61 (2.1)	55 (1.8)	51 (1.5)	53 (1.5)	76 (2.1)	0 (0.0)	2 (6.9)	10 (1.8)	38 (2.8)	140
2,000~2,999人	48 (1.9)	71 (2.5)	63 (2.0)	63 (1.9)	82 (2.4)	75 (2.1)	6 (2.7)	1 (3.4)	15 (2.7)	43 (3.1)	200
3,000~4,999人	51 (2.0)	71 (2.5)	58 (1.9)	60 (1.8)	54 (1.6)	60 (1.7)	3 (1.4)	3 (10.3)	20 (3.6)	43 (3.1)	215
5,000~9,999人	59 (2.3)	61 (2.1)	60 (1.9)	60 (1.8)	59 (1.7)	60 (1.7)	1 (0.5)	0 (0.0)	7 (1.3)	27 (2.0)	302
10,000人以上	34 (1.3)	15 (0.5)	23 (0.7)	13 (0.4)	15 (0.4)	17 (0.5)	1 (0.5)	1 (3.4)	1 (0.2)	12 (0.9)	495
合計	2,590	2,847	3,112	3,313	3,433	3,621	222	29	553	1,376	94

[図表1-4] 注:会議以外の要素が含まれている国際会議(展示会主体の併設会議など)に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

注:構成比は四捨五入して小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。

3

規模別 国際会議の開催状況② (中・大型国際会議の開催件数、外国人参加者数)

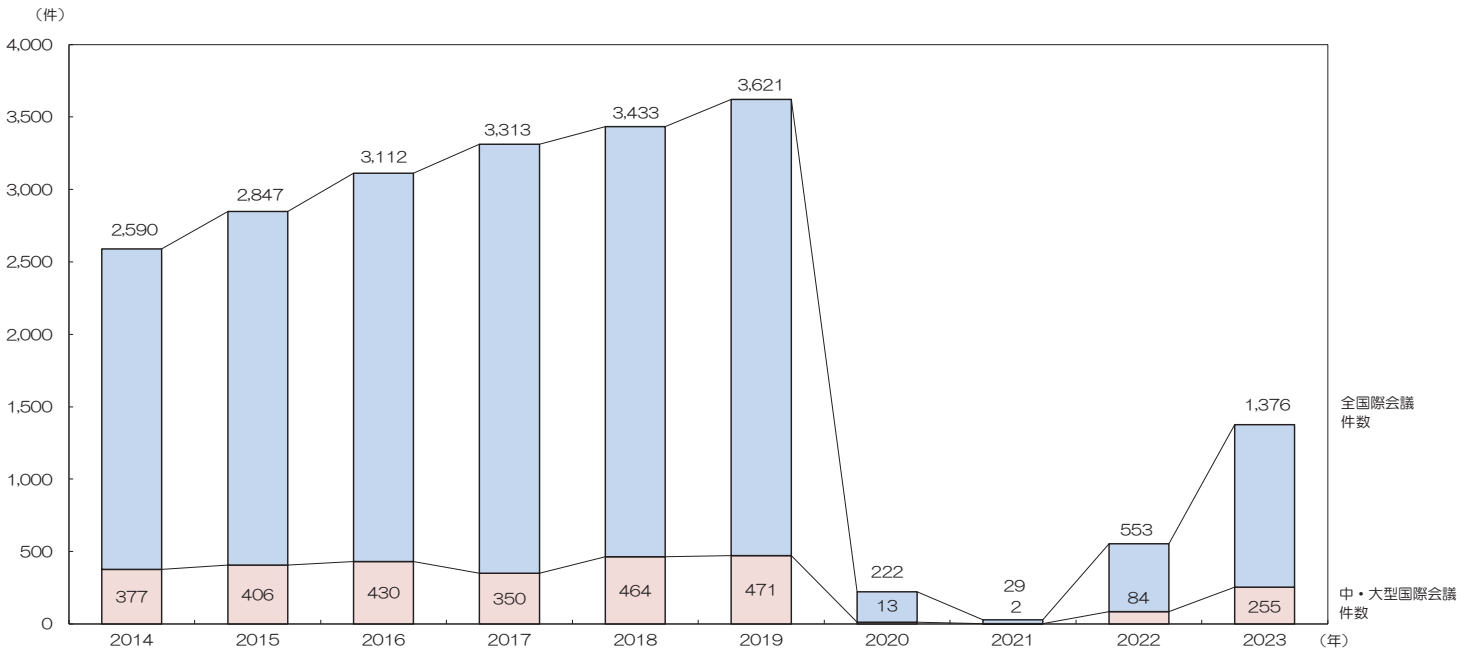
— 中・大型国際会議は件数・外国人参加者数ともに回復で先行 —

中・大型国際会議(※)の開催件数は2021年の2件、2022年の84件から大きく増え、2023年は255件となった。2019年比では54.1%となり、全国国際会議の件数の2019年比(38.0%)を上回った。また、中・大型国際会議の外国人参加者数は87,961人で前年の4.2倍、2019年比では67.0%まで回復している。

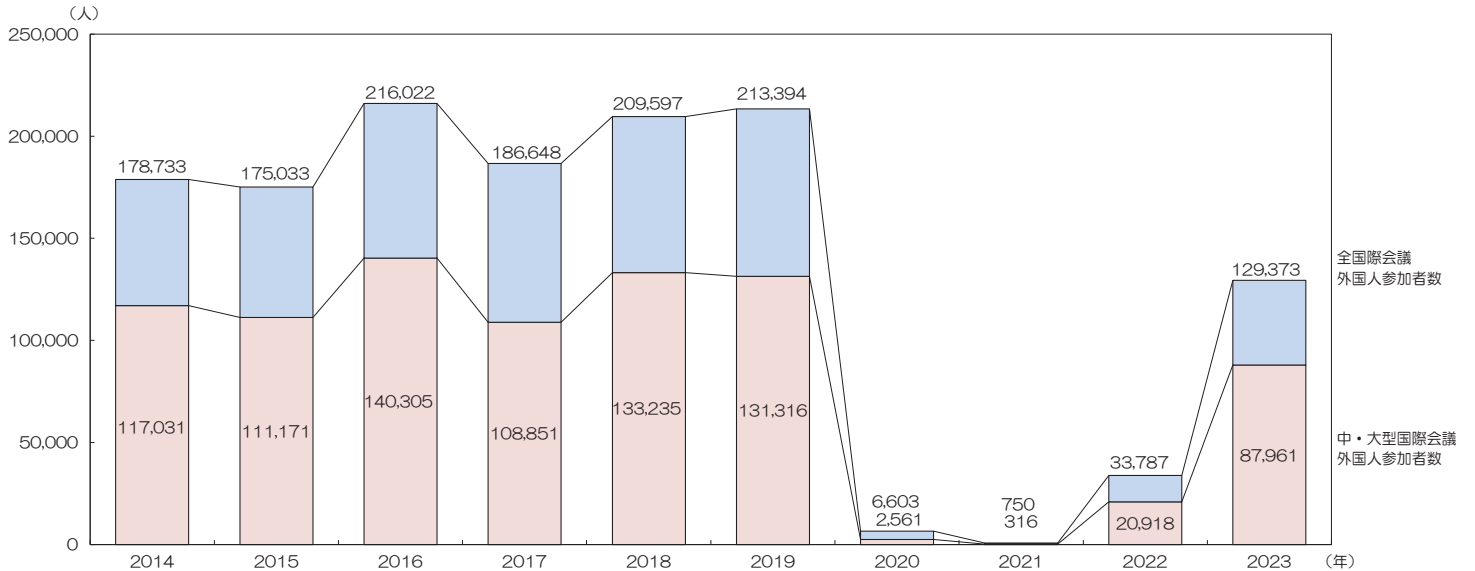
中・大型国際会議の全件数に占める割合は18.5%と2割弱にとどまるが、外国人参加者数では全国国際会議の外国人参加者数の68.0%を占めており、引き続き、中・大型会議では外国人参加比率が高い傾向がみられる。(都市別 中・大型国際会議開催件数は「資料編2」参照)

※中・大型国際会議：外国人参加者数50人以上、および、参加者総数300人以上の会議

図表1-5 国際会議の開催件数と中・大型国際会議の開催件数(2014年~2023年)



図表1-6 国際会議の外国人参加者数と中・大型国際会議の外国人参加者数(2013~2023年)



[図表1-6] 注：会議以外の要素が含まれている国際会議(展示会主体の併設会議など)に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

## 4

## 分野別 国際会議の開催状況 (開催件数、外国人参加者数)

— 前年同様「科学・技術・自然」と「医学」の2分野で7割超 —

2023年の分野別の国際会議の開催件数と構成比をみると、「科学・技術・自然」が700件(50.9%)と最も多く、次いで「医学」が315件(22.9%)となった。外国人参加者数でも、「科学・技術・自然」分野が75,367人で最も多く、「医学」(23,006人)との2

分野で全体の76%を占めている。「社交・親善」「宗教」「スポーツ」分野は、会議件数は少ない一方で、1件当たりの平均外国人参加者数は全分野の中でも特に多くなっている。

図表1-7 分野別 国際会議の開催件数(2014年~2023年)、構成比(2023年)

※2023年は上段:件数、下段:構成比(%)

分野	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
政治・経済・法律	291	249	316	361	378	435	25	1	38	126 (9.2)
科学・技術・自然	1,085	1,222	1,421	1,415	1,395	1,507	108	11	281	700 (50.9)
医学	482	546	577	589	702	631	39	13	124	315 (22.9)
産業	159	128	119	124	165	163	5	0	27	32 (2.3)
芸術・文化・教育	344	337	344	396	446	481	20	1	35	98 (7.1)
社会	111	193	184	260	204	210	13	3	23	40 (2.9)
運輸・観光	19	24	14	34	28	33	4	0	5	16 (1.2)
社交・親善	47	70	72	46	47	32	2	0	2	10 (0.7)
宗教	4	7	8	9	6	11	0	0	1	3 (0.2)
スポーツ	6	19	17	29	20	37	0	0	1	6 (0.4)
その他	42	52	40	50	42	81	6	0	16	30 (2.2)
合計	2,590	2,847	3,112	3,313	3,433	3,621	222	29	553	1,376

図表1-8 分野別 国際会議の外国人参加者数(2014年~2023年)、構成比(2023年)

※2023年は上段:外国人参加者数、下段:構成比(%)

分野	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
政治・経済・法律	18,964	13,472	17,803	22,547	28,255	24,403	541	250	2,608	15,277 (11.8)
科学・技術・自然	71,019	79,113	80,796	75,682	90,335	93,490	3,970	262	18,474	75,367 (58.3)
医学	43,734	35,012	48,404	40,246	43,586	35,735	481	187	5,713	23,006 (17.8)
産業	12,051	11,072	13,138	9,421	13,447	12,741	117	0	961	1,779 (1.4)
芸術・文化・教育	18,941	20,186	25,938	21,081	17,436	20,184	990	2	1,535	5,146 (4.0)
社会	6,986	6,328	7,388	8,329	5,849	5,684	242	49	3,409	2,411 (1.9)
運輸・観光	1,115	2,210	993	1,811	954	2,270	88	0	325	1,957 (1.5)
社交・親善	1,930	2,253	16,653	1,296	4,784	3,463	5	0	80	1,411 (1.1)
宗教	234	172	922	533	562	2,760	0	0	10	468 (0.4)
スポーツ	1,159	906	1,920	1,373	2,559	3,808	0	0	3	873 (0.7)
その他	2,600	4,309	2,067	4,329	1,830	8,856	169	0	669	1,678 (1.3)
合計	178,733	175,033	216,022	186,648	209,597	213,394	6,603	750	33,787	129,373

[図表1-7、1-8] 注:構成比は四捨五入し小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。

[図表1-8] 注:会議以外の要素が含まれている国際会議(展示会主体の併設会議など)に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

5

月別 国際会議の開催状況 ① (開催件数)

— 2019年と同様9月・10月・11月開催が最多、全体の4割占める —

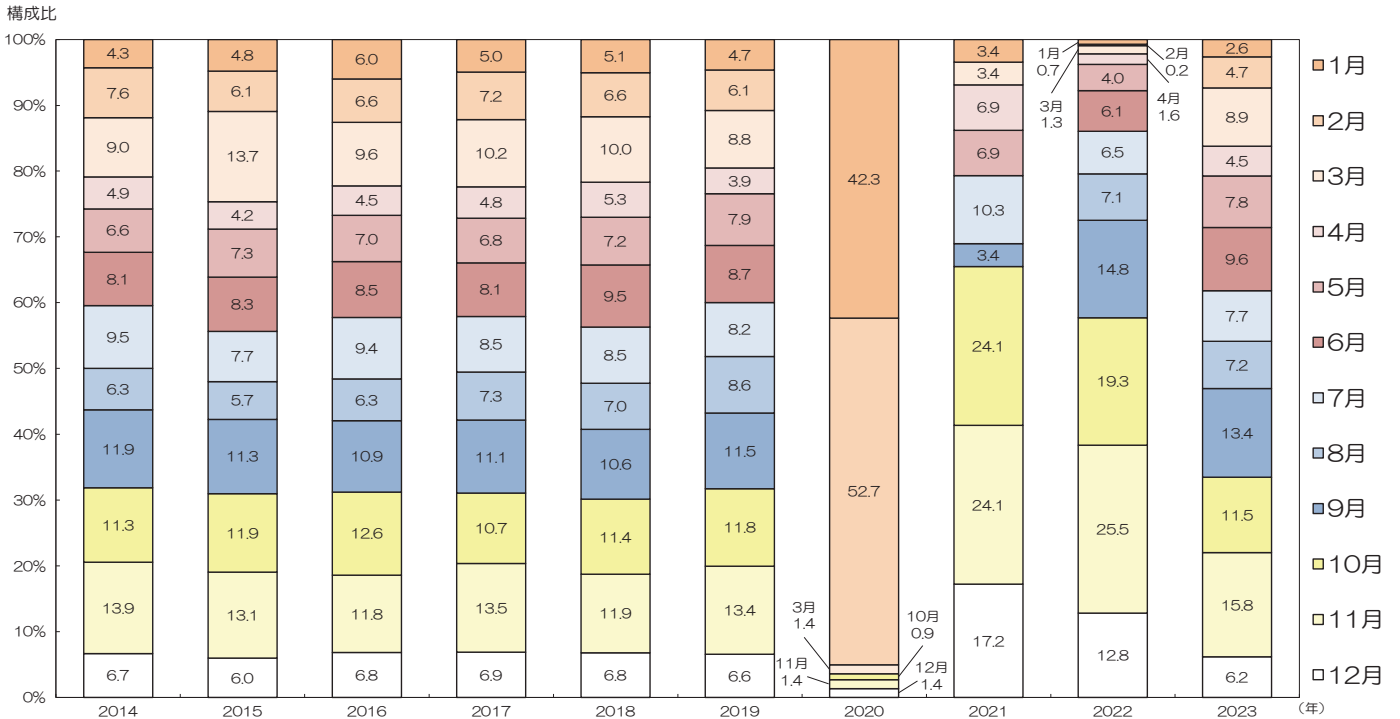
2023年国際会議の月別開催件数は多い順に11月218件、9月185件、10月158件と、9月～11月に全体の40.8%が開催されており、開催時期のピークであることが分かる。一方、最少は1月の36件であった。月別開催件数の構成比を見ると、2020年

～2022年はCOVID-19の拡大に伴う水際措置等の影響もあり開催月に大きな偏りが見られたが、2023年は1月～6月に開催された会議の割合が増え、2019年以前の傾向に戻りつつあることが分かる。

図表1-9 月別 国際会議の開催件数 (2014年～2023年)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1月	111	136	187	164	174	169	94	1	4	36
2月	197	175	205	239	228	221	117	0	1	65
3月	233	391	300	338	342	317	3	1	7	122
4月	126	119	140	159	183	141	0	2	9	62
5月	170	207	219	224	248	285	0	2	22	108
6月	210	235	264	270	326	315	0	0	34	132
7月	247	218	291	281	292	297	0	3	36	106
8月	163	163	196	241	241	311	0	0	39	99
9月	308	321	338	368	364	416	0	1	82	185
10月	292	339	393	354	392	426	2	7	107	158
11月	360	372	367	446	410	484	3	7	141	218
12月	173	171	212	229	233	239	3	5	71	85
合計	2,590	2,847	3,112	3,313	3,433	3,621	222	29	553	1,376

図表1-10 月別 国際会議の開催件数の構成比 (2014年～2023年)



〔図表1-9、1-10〕注：国際会議が月をまたがって開催されている場合、開催日数が多い月に計上した。また、この場合、開催日が前の月と後の月で同数であれば前の月に計上した。

〔図表1-10〕注：構成比は四捨五入して小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。

6

月別 国際会議の開催状況 ② (外国人参加者数)

— 2019年11月以来初めて月別の外国人参加者数が1万人超 —

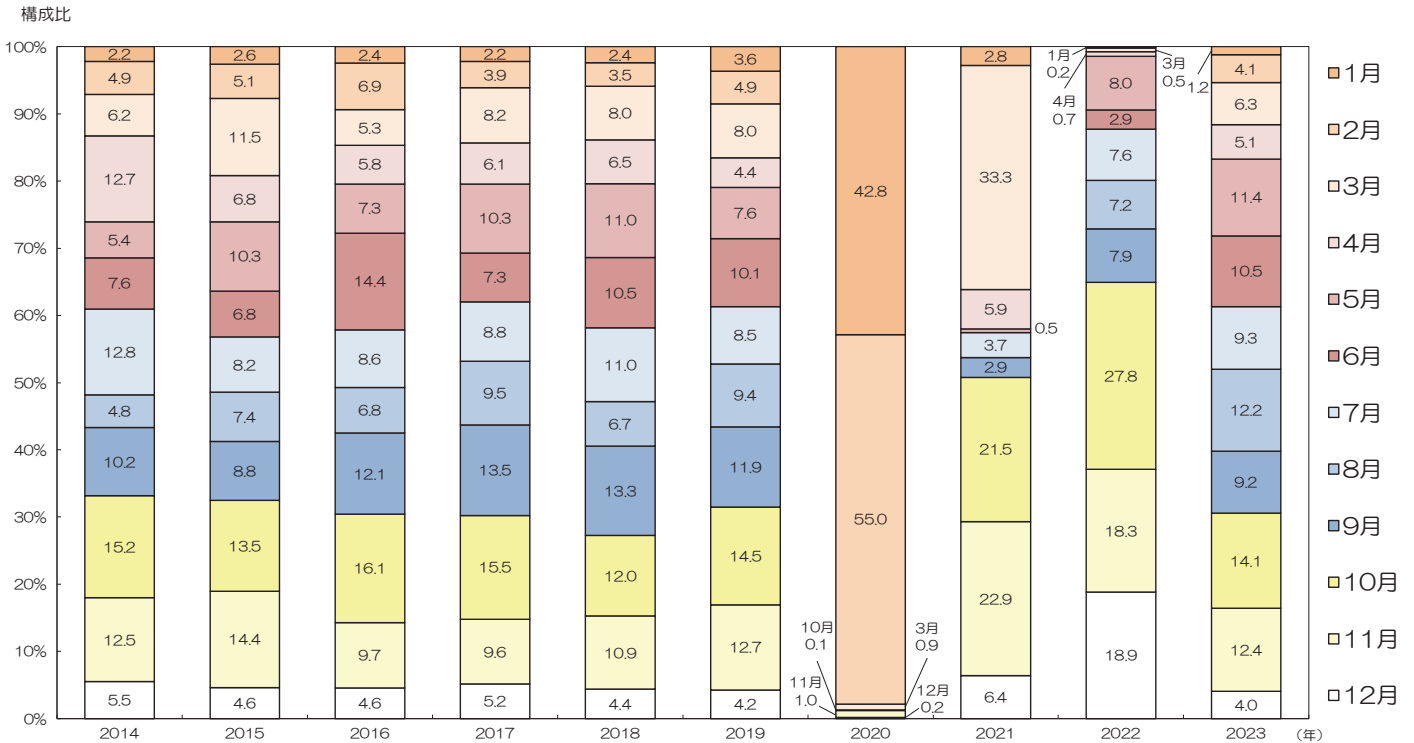
2023年の国際会議の月別の外国人参加者数は、5月に14,804人となり、2019年11月以来初めて1万人を超えた。2023年で外国人参加者数が最も多かったのは10月の

18,281人、次いで11月の16,027人、8月の15,782人となり、開催件数と同様、月別の外国人参加者数の構成比は2019年以前の傾向に戻りつつある。

図表1-11 月別 国際会議の外国人参加者数 (2014年~2023年)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1月	3,923	4,560	5,242	4,094	4,957	7,745	2,828	21	52	1,559
2月	8,745	8,886	15,004	7,288	7,375	10,398	3,633	0	12	5,352
3月	11,083	20,174	11,399	15,360	16,757	17,131	57	250	176	8,131
4月	22,777	11,968	12,458	11,368	13,619	9,376	0	44	245	6,570
5月	9,618	18,052	15,842	19,179	23,038	16,285	0	4	2,688	14,804
6月	13,603	11,944	31,085	13,653	21,982	21,627	0	0	974	13,632
7月	22,887	14,410	18,515	16,424	22,963	18,194	0	28	2,577	12,048
8月	8,658	12,873	14,660	17,702	13,961	20,055	0	0	2,436	15,782
9月	18,153	15,331	26,116	25,175	27,839	25,455	0	22	2,686	11,960
10月	27,178	23,646	34,812	28,846	25,078	30,967	7	161	9,403	18,281
11月	22,315	25,148	21,055	17,932	22,861	27,116	67	172	6,169	16,027
12月	9,793	8,041	9,834	9,627	9,167	9,045	11	48	6,369	5,227
合計	178,733	175,033	216,022	186,648	209,597	213,394	6,603	750	33,787	129,373

図表1-12 月別 国際会議の外国人参加者数の構成比 (2014年~2023年)



[ 図表1-11、1-12 ] 注：会議以外の要素が含まれている国際会議（展示会主体の併設会議など）に関しては、会議部分の参加者数を計上している。  
注：国際会議が月をまたがって開催されている場合、開催日数が多い月に計上した。また、この場合、開催日が前の月と後の月で同数であれば前の月に計上した。

[ 図表1-12 ] 注：構成比は四捨五入して小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。



## 7

## 都市別 国際会議の開催状況 (外国人参加者数、参加者総数、開催件数)

— 東京(23区)、京都市、横浜市が外国人参加者数・参加者総数・件数の上位に —

2023年の都市別外国人参加者数は東京(23区)(34,235人)、京都市(20,641人)、横浜市(11,191人)の3都市が1万人を超えた。参加者総数においても、横浜市(171,233人)、東京都(23区)(158,567人)、京都市(105,137人)の3都市では10万人超となった。東京(23区)(21.6%)と京都市(19.6%)、北九州

市(18.9%)、大阪市(18.7%)、広島市(15.0%)では外国人参加比率が2割前後となっている。

都市別の開催件数では前年から大幅な回復が見られ、30件以上開催の都市は前年の4都市から13都市まで拡大した。

(都市別の開催件数および参加者数等の詳細は「資料編1」参照)

図表1-13 都市別 国際会議の開催状況(2019年、2022年、2023年)〈2023年の外国人参加者数上位10都市を抜粋〉

開催都市	2019年		2022年		2023年		2023年 外国人参加比率 (%)
	外国人 参加者数	参加者 総数	外国人 参加者数	参加者 総数	外国人 参加者数	参加者 総数	
東京(23区)	42,398	308,276	8,174	62,196	34,235	158,567	21.6%
京都市	30,585	190,834	7,747	37,293	20,641	105,137	19.6%
横浜市	27,919	303,767	2,434	54,558	11,191	171,233	6.5%
福岡市	11,590	119,340	1,324	40,222	6,114	88,363	6.9%
大阪市	11,060	149,117	1,108	2,945	4,995	26,776	18.7%
札幌市	8,218	51,090	1,343	13,023	4,800	39,402	12.2%
神戸市	15,641	158,094	1,399	18,960	4,741	90,739	5.2%
名古屋市	9,646	192,416	999	10,544	4,625	47,588	9.7%
北九州市	7,947	38,535	611	2,618	4,471	23,696	18.9%
広島市	6,642	43,051	288	5,768	4,451	29,753	15.0%

図表1-14 都市別 国際会議の開催件数(2014年~2023年)〈2023年の開催件数30件以上を抜粋〉

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
東京(23区)	543	557	574	608	645	561	63	3	134	311
京都市	202	218	278	306	348	383	26	4	70	172
横浜市	200	190	188	176	156	277	9	13	44	98
福岡市	336	363	383	296	293	313	15	0	33	79
名古屋市	163	178	200	183	202	252	9	0	21	62
仙台市	80	221	115	120	116	136	10	1	23	60
神戸市	82	113	260	405	419	438	23	1	19	54
つくば地区(注)	66	53	50	47	42	54	4	0	11	46
大阪市	130	139	180	139	152	204	9	0	11	45
北九州市	73	86	105	134	133	150	6	2	10	45
札幌市	101	107	115	116	109	102	2	0	23	43
千葉市	31	31	43	57	65	56	1	0	9	34
広島市	50	59	76	87	74	72	2	0	12	30

[図表1-13]注:1つの国際会議が複数の都市にまたがって開催された場合、参加者数(外国人参加者数、参加者総数)は原則的に各都市で参加した人数を計上している。

[図表1-14]注:1つの国際会議が複数の都市にまたがって開催された場合、開催件数は各都市で1件ずつ計上している。

注:「つくば地区」は、つくば市、土浦市を含む。

## 8

## 会場別 国際会議の開催状況 (開催件数、参加者数)

－ 開催件数では京都大学、参加者総数ではパシフィコ横浜が最多 －

2023年の会場別開催件数は京都大学が72件で最も多く、大学では、東京大学(35件)、九州大学および東北大学(各30件)でも30件以上の国際会議が開催された。国際会議場では、パシフィコ横浜で69件、つくば国際会議場で34件、国立京都国際会館で31件の国際会議が開催された。

パシフィコ横浜では参加者総数は前年の3.2倍の16万人、外国人参加者数も1万人以上となった。国立京都国際会館においても外国人参加者数が1万人を超え、1件当たりの平均外国人参加者数も、早稲田大学(460人)に次いで多い370人となった。

図表1-15 会場別 国際会議の開催件数、参加者数(2023年)〈開催件数10件以上の会場〉

会場名	開催件数	参加者総数	外国人参加者数	外国人比率(%)	1件当たりの平均参加者総数	1件当たりの平均外国人参加者数
京都大学	72	20,441	2,335	11.4	284	32
パシフィコ横浜	69	162,993	10,330	6.3	2,362	150
東京大学	35	8,269	2,876	34.8	236	82
つくば国際会議場	34	15,358	2,025	13.2	452	60
国立京都国際会館	31	52,601	11,477	21.8	1,697	370
九州大学	30	5,661	975	17.2	189	33
東北大学	30	12,046	759	6.3	402	25
神戸国際会議場	25	75,682	2,797	3.7	3,027	112
大阪府立国際会議場	23	19,736	2,364	12.0	858	103
名古屋大学	23	7,271	1,852	25.5	316	81
福岡国際会議場	22	64,650	3,309	5.1	2,939	150
幕張メッセ	21	50,074	3,870	7.7	2,384	184
仙台国際センター	21	28,678	3,053	10.6	1,366	145
北海道大学	20	12,402	1,485	12.0	620	74
北九州国際会議場	16	12,868	1,750	13.6	804	109
京王プラザホテル	14	13,809	3,335	24.2	986	238
淡路夢舞台国際会議場	14	1,680	699	41.6	120	50
神戸国際展示場	13	79,362	2,033	2.6	6,105	156
沖縄科学技術大学院大学	13	1,352	708	52.4	104	54
神戸大学	13	2,025	252	12.4	156	19
東京国際フォーラム	12	42,576	3,668	8.6	3,548	306
神戸ポートピアホテル	12	67,329	2,253	3.3	5,611	188
広島国際会議場	12	20,090	707	3.5	1,674	59
早稲田大学	11	7,067	5,063	71.6	642	460
ホテルニューオータニ東京	11	2,697	1,271	47.1	245	116
島根県立産業交流会館(くにびきメッセ)	11	1,830	677	37.0	166	62
東京工業大学	11	1,248	415	33.3	113	38
笹川平和財団ビル	11	1,635	258	15.8	149	23
札幌コンベンションセンター	10	17,442	2,080	11.9	1,744	208
北九州市立大学	10	5,161	1,904	36.9	516	190
朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター	10	13,409	1,291	9.6	1,341	129
日本科学未来館	10	4,306	1,243	28.9	431	124
名古屋国際会議場	10	23,743	863	3.6	2,374	86
虎ノ門ヒルズフォーラム	10	2,749	826	30.0	275	83
アクトシティ浜松	10	4,024	644	16.0	402	64
立命館大学	10	802	300	37.4	80	30

注1: 本表では、複数会場を利用して開かれた同一会議は、会場をベースに集計してある。

注2: 本表では、大学等の付属施設は大学での開催件数に含めている。また、複数都市にキャンパスがまたがる場合は、まとめて計上している。

注3: 会議以外の要素が含まれている国際会議(展示会主体の併設会議など)に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

注4: 会場名は2023年12月末時点の名称を記載している。